

令和3年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表  
(個人質問)

No.1

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
丹政会 谷尻 昌史 (一問一答) 質問予定日 6月3日 午前10時～	地域振興	南丹市ケーブルテレビ事業について	① 民営化に向けた協議の現状や進捗状況について伺う。 ② 審議会で示された年度別CATV関係収支予想等の金額について伺う。 ③ 民営化に向けた今後のスケジュールについて伺う。 ④ 民営化による市民サービスへの影響について伺う。 ⑤ 民営化によるイントラネット(行政系・教育系)への影響について伺う。 ⑥ 南丹市情報センター職員の「雇用の配慮」について伺う。 ⑦ 今後の情報通信施策やまちづくりについて伺う。	市 長 担 当 部 長
	教育	市立中学校のクラブ活動について	① 緊急事態宣言に伴う、中学校クラブ活動の制限について経過や現状を伺う。 ② 園部中学校の学校体育・運動部活動と運動場について伺う。	教 育 長 担 当 部 長
みらいねっと南丹 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 6月3日 午前11時～	福祉	高齢者の移動手段の確保について	① 「高齢者等生活支援事業の外出支援サービス」の現状は。 ② 利用対象者は「おおむね65歳以上の高齢者又は心身に障害がある者で、歩行や移動が著しく困難な者」と規定されているが、その基準や認定に問題はないか。 ③ 利用に関しては、「居宅と医療機関等との間を送迎するものとする」とあるが、許容範囲はどうか。 ④ 「訪問型サービスD事業」との関連や今後の展開は。	市 長
	男女共同参画	市政に女性の意見を反映させる取り組みについて	① 「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」では、地方公共団体は、政治分野における男女共同参画に向けて、①実態の調査及び情報の収集等②啓発活動③環境整備④人材の育成等を行うように努めることが定められているが、市としての考え方と取り組みの現状は。 ② 本市の第2次男女共同参画行動計画において、審議会・委員会における女性の割合は30%を目標とするとしているが、現状は。 ③ 市の防災会議などにおける女性委員の登用を進めるべきと考えるが。	担 当 部 長
	公有財産	日吉木住地内の市有地の管理について	① 木住地内市有地への企業誘致の進捗は。 ② 現状の認識と今後の方向性は。	
	地域医療	みやま診療所院外薬局について	① 院外薬局整備の進捗は。 ② 診療所から薬局までの通行の安全確保はできているか。	
活緑クラブ 松尾 武治 (一問一答) 質問予定日 6月3日 午後1時～	行財政改革	自治体は高度成長時代に多くの公共施設を建設したが、人口減少から消滅する自治体もある。 税金による市民サービスの提供から、地域にあった戦略が求められ「地域で創る・地域で稼ぐ」をヒントに自立した地域経営への転換が不可欠ともいわれる。 その一環が「PFI・指定管理者制度の導入」とも言われているが、市の基本姿勢は。	① 指定管理者制度は、従来の委託契約から「指定・協定」に変更され、委託者には、使用許可権限と、利用者から料金徴収ができる制度となったことで「公の施設の管理を行うものに制限」がなくなり、指定管理者制度の導入で、2割の経費削減に繋いだ自治体もある。 南丹市は、収益事業を担っているにも関わらず、指定管理料が倍増している施設もある。指定管理者制度導入に対する認識不足から制度導入の効果が示せなかったと考えるが市長の見解を伺う。 ② 指定管理者制度は、施設の効率的な運営による利益の増大とサービスの向上、施設を活かした自主事業を可能とした制度と言われている。 公募で示した委託事業を事業報告書に委託事業で報告しながら、指定管理料の積算根拠では「自主事業」にするなど曖昧な対応をしている。民間参入などで「効果的、効率的と経費節減を図る」指定管理者制度を適切に施行するためにも、基本方針・マニュアル等を「持続可能な施設運営」の視点に修正する必要があると考えるが市長の見解を伺う。	市 長 担 当 部 長
	地域振興	日吉地域の課題について	「暗い駅広・胡麻駅」まで、イコカカードの使用が拡充された。民間の宅地造成による通勤客と京丹波町からの乗降者で駐車場が不足している。周辺に利用しない施設もあるが「駐車場増設と明るい駅広」を提案する。それに対する見解を伺う。	
	農政	鳥獣被害特別措置法が示す市町村の役割に対する認識不足が事業者の負担に	国は特措法で市町村の役割を明確に示したが、市は平成12年権限移譲時の感覚が残っている。特措法で市町村の役割が明確になったが、法が示す市町村の役割を伺う。	
日本共産党 南丹市議会 議員団 麻田 育良 (一問一答) 質問予定日 6月3日 午後2時～	総務	行政のデジタル化について	① 行政のデジタル化に伴い、民間委託も進んでいるが、個人情報保護についての考えは。 ② 窓口業務や申請について、デジタル対応と今までの対応と両面必要だと思うが考えは。 ③ 国は情報の標準化と統一化を推進するとしているが、システムが大きくなると、自治体独自の施策が実施しにくくなる恐れが指摘されているが考えは。 ④ 国は自治体の個人情報を民間にも提供しようとしているが考えは。	市 長 担 当 部 長
	学校教育	少人数学級の実現について タブレットの使用について 体育授業などでのマスク着用は	① 国が今年度から5年かけて小学校で35人学級にしていくことになったが、南丹市での対応状況はどうか。 ② タブレットの活用について、使用のガイドラインが必要だと思うがどうか。 ③ 体育授業などでのマスク着用はすべきでないがどうか。	教 育 長 担 当 部 長
	福祉	コロナ禍で生理用品が買えない事について	① コロナ禍で生理用品が買えない事態が指摘されているが、提供するなどの考えはどうか。 ② 小中学校へのトイレに置いてほしいという声があるが。	市 教 育 長 担 当 部 長

令和3年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表  
(個人質問)

No.2

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
至誠会 西村 好高 (一問一答) 質問予定日 6月3日 午後3時～	医療	新型コロナウイルス感染症について	① ワクチン接種の現状と64歳以下の接種見直しについて伺う。 ② 幼小中高校の教諭や保育士へのワクチン先行接種の所見を伺う。 ③ 厚生労働省は、ワクチン接種は強制ではないと明言しているが、過剰なテレビ報道などにより、接種が強制であると思いつむ市民がおり、接種していないことによる差別や不利益をこうむる可能性も否めない。これに対する市の対応策を伺う。 ④ ワクチン接種だけに頼らず、感染しても発症させない、重症化させない体づくりのために、食生活や生活習慣の改善による体力と免疫力の向上の重要性を市民に啓発する必要があると考える。また、市として具体的な支援施策も必要と考えるが見解を伺う。	市 長 教 育 長 担 当 部 長
	人口減少	人口減少対策について	本市の人口は、合併後5,300人以上減少する厳しい現状である。喫緊の課題である人口減少対策のために「南丹市人口ビジョン」と「南丹市地域創生戦略」が策定されている。また、人口減少は全国的な課題であり、課題解決のために、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が「出生数や出生率の向上に関する事例集」を発行している。それらを参考にして以下について伺う。 ① 本市の人口減少の現状について、市長の所見を伺う。 ② 人口動態で自然動態の減少を抑えるには、出生数を増やす必要がある。そのためには合計特殊出生率の向上が不可欠であるが、具体的な施策について伺う。 ③ 社会動態で転入を増やし、転出を抑える具体的な施策について伺う。 ④ 人口減少という課題に対しての長期ビジョンを伺う。	市 長 担 当 部 長
新風会 塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 6月3日 午後4時～	行政	参与・政策監について	4月の人事異動で新たに参与を任命され参与2名政策監1名体制を取られている。以前に部長より上の階級であると説明もあったが、今回増員された理由と、それぞれの職務内容及び副市長との相違点を伺う。	市 長
	選挙	投票率を低下させない施策について	新たな投票所の設置や方法などは検討されていないか伺う。	選挙管理委員会 委員長
	地域振興 財政	南丹市のイベントについて 公共入札について	官民一体となって実施するイベントが必要だと考えるが見解を伺う。 市内発注率を高めるとともに、公平公正な入札を実施するためにも南丹市独自の入札方法が必要と考えるが見解を伺う。	市 長 担 当 部 長
	行政	SDGsの考え方に基づいたまちづくりについて 持続可能なまちのために取り組んでいる施策について	総合振興計画の進行状況を伺う。 地域循環エネルギーに対する取り組みは本市にとって有効な施策と考えるが、関係各部長の見解を伺う。	各 部 長
公明党 平田 聖治 (一問一答) 質問予定日 6月4日 午前10時～	保健医療	新型コロナウイルスワクチン接種について	① 64歳以下の接種はいつ頃になるのか。予約年齢は5歳間隔か。 ② 重度障がいのある方や家で寝たきりの方の接種方法は。 ③ ドライブスルーでの接種の考えはあるか。 ④ 予約キャンセルがあった場合の対応は。 ⑤ ワクチンの廃棄処分の心配はないか。 ⑥ 15歳以下の接種の見直しは。	市 長 担 当 部 長
	福祉・教育	ヤングケアラーについて	本市では実態調査をされているか？現状について市長、教育長の見解を伺う。	市 教 育 長
	教育	学生奨励金支給について(提案) (仮称)「ふるさと南丹学生奨励金」	群馬県渋川市では、将来、渋川市に貢献することを志す人材を支援するために、「ふるさと渋川学生奨励金」を支給している。本市において、将来、南丹市に貢献しようとする志のある人材の夢の実現を奨励し、支援するために奨励金を支給することについて(提案)の教育長の見解を伺う。	教 育 長
みらいねっと南丹 平野 清久 (一問一答) 質問予定日 6月4日 午前11時～	農林業	豚熱(CSF)の現状と対策について 人・農地プランの実質化と農業委員会の役割について	① 野生いのししの豚熱検査実施状況と結果は。 ② いのしし用豚熱経口ワクチンの散布状況は。 ③ 豚熱(CSF)の周知と南丹市猟友会との連携は。 人・農地プランの実質化に取り組み、地域の話し合いを再活性化して「地域の農地を誰が担っていくか」農業委員・農地利用最適化推進委員と連携して積極的な取り組みを推進すべきと考えるが。	市 長
	地域振興	情報通信ネットワーク事業について	① ケーブルテレビ事業の収支状況及び(公財)南丹市情報センターの運営に対する評価は。 ② 公の施設の指定管理者指定に係る今後のスケジュールは。 ③ ケーブルテレビの民間譲渡に向けた協議の状況は。 ④ 施設整備に活用した補助金・起債の扱いは。	担 当 部 長
	環境	カンポリサイクルプラザについて	① カンポリサイクルプラザ施設解体工事の完了状況及び「形質変更時要届出区域」の指定に係る地下水の調査結果は。 ② 今後のスケジュール及び市への無償譲渡後の管理体制は。 ③ 地域の活性化につながる土地活用の方向性は。	担 当 部 長
	人事	職員の病気休職者について	① 職員の病気休職者の現状は。 ② 管理職と職員のコミュニケーションによる人事管理の評価は。	担 当 部 長

令和3年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表  
(個人質問)

No.3

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 6月4日 午後1時～	福祉	食糧支援などのセーフティーネットについて	新型コロナウイルスの影響により収入の低減や生活が困窮されている人々が多くなっている中で、社会福祉協議会の事業計画において食糧支援が必要な方々へ食べ物を支援していくなど、フードパントリーも実施していくと決まった。その中で、本市との連携や今後について伺う。	市 長
		地域共生社会について	地域共生社会に向けて、近年各家庭においては一つの悩みだけでなく多重に重なった課題や複雑化した悩みが多くなってきている。そうした中で相談に対応できるようより属性や世代をとわない相談・地域づくりとして、国の方では重層的支援体制整備事業の財政処置がなされているが、本市における現状や今後について伺う。	
	危機管理	防災対策について	① 河川の堤防維持管理について伺う。 ② 近年、風水害等に対応すべく各市町村が、民間企業と災害協定を結んでいる所が多くなっている中で、本市における民間企業との災害協定の現状について伺う。 ③ 災害対策基本法の改正案で「避難勧告」を廃止し、「避難指示」に一本化となっているが、本市の市民への周知について伺う。	
		道路管理	京都縦貫自動車道について 京都府道路公社が管理する京都縦貫自動車道の西日本高速道路株式会社への移管等に向け、国、府、西日本高速道路(株)、京都府道路公社で協議方針がまとめられ、利用者重視のシームレスな料金体系の実現に向けて令和5年度に八木本線料金所及び篠本線料金所の撤去の方向となっている。 撤去による地域経済の影響や本市内における片側インターの今後の在り方なども含め、様々な事を考えて要望していく必要があると考えるが、市長の見解を伺う。 ① 八木町本町6丁目の生津川にボックスカルバートの橋を設置し、市民が通れるようにしていくことが、予定されている。市民がそこを通り本郷へ向かうには、安全対策として東所川の堤防管理道の舗装整備と安全柵の設置が必要と考えるが、市長の見解を伺う。 ② 八木大藪のロータリーから八木中学校前を通り京都中部総合医療センターへの道が大変狭隘で危険である。特に京都中部総合医療センターの十字路においては、事故も発生しており、安全対策も含め様々な事を検討していく必要があると考えるが市長の見解を伺う。 ③ 八木町氷所から神吉に向かう広域農道については、日頃より多くの人々に利用され、市民の生活にとっては必要不可欠な道路として活用されている。また、この農道は農業用に農水省の管轄により整備され、完成後の道路については市町村に移管される。そうした中で、道路状況を見てみると、通行はなんとかできるところであるが、隆起している所や陥没している所もでてきている。大雨や雪の季節になると非常に危険な状況である。事故等を未然に防ぐには、しっかりと舗装整備を進めて行く必要があると考えるが市長の見解を伺う。	
日本共産党 南丹市議会 議員団 野村 健 (一問一答) 質問予定日 6月4日 午後2時～	コロナ対策	コロナウイルス感染対策の現状と課題	① 医療、高齢者施設関係職員のワクチン接種は完了したか。 ② 高齢者のワクチン接種の予約の現状と対応はどうか。 ③ 今後の予約方法は、先着順を改める改善が必要ではないか。 ④ 高齢者、医療機関に対する社会的検査の拡充と、無症状者への大規模検査が必要と思うが。 ⑤ 売り上げ減少の中小・個人事業者への支援はどうか。	市 長
	環境対策	ゴミ収集について 本梅川上流の汚泥処理施設の計画について	高齢化のもと、ゴミ収集回数と収集場所を増やせないか。 ヒ素など有害物質を含む汚泥を処理する施設の計画で、亀岡市で住民運動が広がっている。認識と見解はどうか。	担 当 部 長
	総務関係	核兵器禁止条約について	核兵器禁止条約の批准について、市長の見解はどうか。	市 長
至誠会 前田 義明 (一問一答) 質問予定日 6月4日 午後3時～	総務(指定管理)	行財政改革について	本市の指定管理者制度導入施設に民間活力を活かす考えに至った経緯や、今後について伺う。	市 長
	農林商工(企業誘致)	企業誘致について	コロナ禍での製造業は国内において大きな影響を受けている。新たな設備投資する企業は来ていただけるのか伺う。	
	市民環境(動物愛護)	生きもの飼育について	本市で特定動物を飼っておられる方の状況を把握されているのか伺う。	
新風会 木村 裕 (一問一答) 質問予定日 6月4日 午後4時～	高齢者福祉の推進と地域づくり	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の推進について	① 令和3年度から3年間の第8期介護保険事業計画が策定された。第7期と比較しての違いは何か。 ② 「住み慣れた地域で安心して尊厳のある生活を送ることができる」ためには、施設・居住系・在宅の各サービスの充実が求められる。各サービスの実績が、計画目標に対し低い水準のものがある。改善の方策を伺う。 ③ 高齢者が、その能力を社会や地域で発揮しながら、可能な限り自立して生活するためには、通いの場や居場所づくりが必要である。コロナ禍後を見据えてどのように施策推進していくのか。	市 長
		地域包括ケアシステムの構築と地域づくりの推進について	① 地域において「我が事」として参画し「丸ごと」つながることを目指して地域包括ケアシステムの構築が取り組まれる。「美山モデル」の構築に向けて、どのような体制でどんな内容で進めるのか。 ② 地域包括ケアシステムの構築は、地域振興の組織づくりや強化の取組でもある。その主体をどのように形成していくのか。また、行政からの支援をどのように行っていくのか。	

令和3年第2回南丹市議会6月定例会一般質問通告文書表  
(個人質問)

No.4

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 6月7日 午前10時～	総務	奨学金返還支援事業の推進について	① 全国で広がる奨学金返還支援について所見を伺う。 ② 奨学金返還支援事業実施についての考えを伺う。 ③ 京都府就労・奨学金返済一体型支援事業拡大への取り組みの考えを伺う。	市長 担当部長
	教育	美山山村留学センターについて	美山山村留学センターは、都会から多くの子供たちを受け入れ、共同生活をしながら大自然の恵みをいっぱい受け、一人一人が貴重な体験をしてきている。本年度で24年目を迎えている。府内唯一の山村留学センターである。 ① 今日までの取り組みについて、教育長はどのように評価されているのか伺う。 ② 今後の山村留学センターの在り方について伺う。	教育長 担当部長
	人事	人事の在り方について	① 人事の根本的な留意点は何か。 ② 適材適所の人事配置と考えるが、年功序列制度とのあり方はどうか。 ③ 人事内定から発令までの期間及び引き継ぎについて伺う。 ④ 職員の人材育成についてどのように考えているか	市長 担当部長
みらいねっと南丹 廣瀬 孝人 (一問一答) 質問予定日 6月7日 午前11時～	環境	第2次南丹市環境基本計画について	① 基本方針:ごみのポイ捨て・不法投棄のない美しいまちづくりの具体的な方法と推進は。 ② ペットボトル回収:デポジット制度についての考えは。 ③ SDGsとCSRが大切な取り組みと考えるが、本市の考えは。	市長 担当部長
	都市計画	JR八木駅東口周辺整備事業について	① 課題抽出のためのアンケート調査の経過は。 ② 複数案の比較評価、パブリックコメント・ワークショップは。 ③ 計画案の作成の時期は。 ④ JR八木駅東口広場の買い上げの時期は。	
		JR八木駅を拠点とした活用について	「やぎパラ」おもてなしナビゲーションを構築し、新駅舎を拠点として、徒歩で行ける飲食店や事業所、見どころなど、スマートフォンにQRコードを読み取ると、見ることが出来る。駅舎に案内の看板を設置している。今後の駅舎の活用は。	
	商工	地域や商店街の取り組みについて	南丹やぎの青空市は、10年継続し、6月で120回目である。今、新しい連携(ジョイント・ベンチャー)が始まっている。各地区の拠点イベントを持続可能にし、連携を推進することで老若男女が交じり合う機会と地域コミュニティが育つと思うが。	